# 無形文化遺産の保護に関する条約 (無形文化遺産保護条約)

・2003年のユネスコ第32回総会で採択され、今年で10周年を迎えます。

#### 無形文化遺産って何?

条約の定義では、「慣習、描写、表現、知識及び 技術並びにそれらに関連する器具、物品、加工品 及び文化的空間であって、社会、集団及び場合に よっては個人が自己の文化遺産の一部として認め るもの」

- ・口承による伝統及び表現
- ・芸能
- 社会的慣習、儀式及び祭礼行事
- ・自然及び万物に関する知識及び慣習
- ・伝統工芸技術

#### 条約の目的は?

- ・無形文化遺産を保護すること
- ・関係者の無形文化遺産に対する尊重を確保 すること
- ・無形文化遺産の重要性に対する認識を高める
- ・無形文化遺産の正しい相互理解の重要性に対 する認識を高めること
- ・国際的な協力と援助に関すること
- ・年に一度、締約国(2013年4月末現在154ヵ国)から選出される委員国によって構成される政府間委員会 が開かれ、「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」(代表一覧表)や「緊急に保護する必要がある無形 文化遺産の一覧表しへの記載などについて、審議を行っています。
- ・本日上演する「佐陀神能」と「カンボジアの宮廷舞踊」は、それぞれ2011年と2008年に代表一覧表に記 載された無形文化遺産です。

コ と

(参考: UNESCOの無形文化遺産ウェブサイト (http://www.unesco.org/culture/ich/) )



大阪府や堺市に関わりの深い文化遺産をご紹介します。

- ◇ ユネスコ世界文化遺産登録をめざす百舌鳥・古市古墳群(パネル展示)
- ◇ ユネスコ無形文化遺産 人形浄瑠璃文楽(文楽人形・パネル展示など)
- 国選択・大阪府指定無形民俗文化財 上神谷のこおどり(衣装・道具など)
- ◇ 大阪府指定無形民俗文化財 堺の手織緞通(展示・実演)



市古墳群は、世界最大級の墳墓である仁徳天皇陵古墳や 応神天皇陵古墳などの巨大前方後円墳を含む我が国を代 表する古墳群であり、1600年もの間、人々の暮らしととも に数々の危機を乗り越え、今、私たちに受け継がれている。 ※2010年11月: 我が国の世界遺産暫定一覧表に記載

## 人形浄瑠璃文楽



義太夫節(ぎだゆうぶし)に合わせて人形操作を行う音楽劇 である。18世紀に大成した。義太夫節を語る大夫、その伴奏 をする三味線は、登場人物の性格や喜怒哀楽の心情を語り 分ける。また、1体の人形を3人で操作する工夫により、人形 の写実的な動きが可能となり、浄瑠璃と一体となって舞台上 で高い芸術性を示す。

※2008年:無形文化遺産保護条約の「人類の無形文化遺産の代表的な 一覧表」に記載

#### 上神谷のこおどり



上神谷(にわだに)のこおどりは堺市南区鉢ヶ峯寺に伝承

※1972年:国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択 ※1993年:大阪府指定無形民俗文化財に指定



緞通 (だんつう) は、江戸時代後期から近代にかけて盛ん されるもので、もとは雨乞踊として踊られたともいうが、現在に生産された手織りの敷物である。もとは中国から技法が は片蔵の櫻井神社の秋季例祭のおりに行われる。デンツ拍 伝えられ、国内では鍋島(佐賀県)、赤穂(兵庫県)と堺が 子、四ツ拍子などの音楽的な特色や、鬼神の背負うヒメコと 緞通の三大産地とされている。堺緞通は明治時代中期には 海外へも盛んに輸出された。現在は堺式手織緞通技術保存

本紙にて掲示される情報や意見は主催者が責任を有し、ユネスコはいかなる表明・保証を行うものではありません。





Educational, Scientific and Cultural Organization •

# 擦択10周年

# 記念シンボジウム

International Symposium in Celebration of the 10th Anniversary of the 2003 Convention for the Safeguarding of the Intangible Cultural Heritage



2013年8月3日● 13:00~17:30



ホテル・アゴーラ リージェンシー堺 ロイヤルホール2

- 主催:独立行政法人国立文化財機構アジア太平洋無形文化遺産研究センター(IRCI)・文化庁・堺市
- 後 援:外務省・日本ユネスコ国内委員会
- 協 力:独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場

#### 次 第

主催者・来賓挨拶

13:00 ~ 13:15

青 柳 正 規 文化庁長官

アビマンユ・シン ユネスコ北京事務所長

竹 山 修 身 堺 市 長

第1部 無形文化遺産を知る

13:15 ~ 15:25

基調講演 「無形文化遺産保護条約の未来と国際社会の役割」

松 浦 晃一郎 前ユネスコ事務局長

基調講演 「無形文化遺産の継承」

梅 若 玄 祥 観世流能楽師 シテ方 56世梅若家当主

**パネルディスカッション** 「無形文化の力と無形文化遺産保護条約の使命」

◎パネリスト (50音順)

イム・ドンヒ 韓国東国大学校特別教授・アジア太平洋地域無形文化

遺産国際情報ネットワークセンター副理事長

梅若玄祥 観世流能楽師 シテ方 56 世梅若家当主

東京国立博物館名誉館長・元ユネスコ日本政府代表部

大使・元文部事務次官

アビマンユ・シン ユネスコ北京事務所長

リトゥ・セティ クラフト・リバイバル・トラスト (NGO) 代表

ノロドム・ボパ・デヴィ王女殿下 カンボジア王立舞踊団顧問

国立文化財機構顧問

前ユネスコ事務局長

宮川 康秀 佐陀神能保存会会長

◎モデレーター

荒 田 明 夫 アジア太平洋無形文化遺産研究センター所長

( 休憩 20分 )

無形文化遺産の世界(芸能公演)

15:45 ~ 17:20

佐陀神能 (佐陀神能保存会)

カンボジアの宮廷舞踊 (カンボジア王立舞踊団)

17:20 ~ 17:30

#### (会議まとめ及び閉会の辞)

荒田明夫

アジア太平洋無形文化遺産研究センター所長

#### 基調講演演者



#### 松浦晃一郎(前ユネスコ事務局長)

1959 年外務省入省。1961 年米国ハヴァフォード大学経済学部卒業後、経済協力局長、北米 局長、外務審議官(先進国サミットのシェルパ兼任)などを歴任。駐仏大使、世界遺産委員会議 長を経て、1999 年から 2009 年まで第8代ユネスコ事務局長。2003年の「無形文化遺産の保 護に関する条約」の制定・採択に尽力し、文化及び文化遺産保全に関する6条約体制を樹立した。



#### 梅若 玄祥 (観世流能楽師 シテ方 56 世梅若家当主)

1979 年梅若六郎家当主を継承、1988 年 56 世梅若六郎を襲名。2006 年紫綬褒章を受章し た後、2007年芸術院会員に就任。2008年2代梅若玄祥に改名。この間、芸術祭優秀賞、芸 術選奨文部大臣新人賞、松尾芸術賞、讀賣演劇大賞主演男優部門優秀賞、日本芸術院賞など 数多くの賞を受賞しており、能楽の現行曲はもとより、廃絶された能の復曲、新作能の上演にも積 極的に携わり、様々な演出を試みるなど、今に生きる古典芸能としての能を支えている。

#### パネリスト(50音順)

東国大学校歴史学科特別教授。アジア太平洋地域無形文化遺産国際情報ネットワークセンター副理事長。長年にわたり 大韓民国の無形文化遺産保護委員会の議長を務めている。

#### 

1964年文部省入省。文化庁次長、学術国際局長、大臣官房長を経て、1997年文部事務次官。退官後、2000年日 本学術振興会理事長、2003 年ユネスコ日本政府代表部大使を歴任し、2007 年から 2009 年まで東京国立博物館長。 2009年から国際医療福祉大学教授。東京国立博物館名誉館長。

#### ☆アビマンユ・シン (ユネスコ北京事務所長)

インド政府職員の一員として、1974 年から 2000 年までインド国内で勤務した後、2001 年から 2006 年までユネスコ本 部にて「万人のための教育」(EFA) プロジェクトにおいて中心的な役割を担った。2006 年から 2008 年までユネスコアブジャ 事務所 (ナイジェリア) の所長を務めた後、2008年から現職。

#### **❖リトゥ・セティ** (クラフト・リバイバル・トラスト (NGO) 代表、インド)

1999年から若年層を対象とした伝統工芸教育のプログラムを実施。これまで、数多くの無形文化遺産についてのセミナー や展示会を手掛ける。2009年から2011年まで、「緊急に保護する必要がある無形文化遺産の一覧表」や「国際的な援助」 などについて勧告する諮問機関の議長。また、南アジアの芸能・工芸・織物などの無形文化遺産とその保持者に関する最 大のオンライン百科事典である"Asia InCH"の編集者でもある。2013 年からインド文化省文化資源訓練センターなどの 理事を務める。

#### 

プノンペンにてカンボジア王国故ノロドム・シハヌーク前国王陛下と故ニャック・モニャン・パット・カニョル妃との間の王女 として生まれる。6歳のときから宮廷舞踊を学び、その後は国内外にカンボジアの宮廷舞踊を広められた。1993年文化芸 術副大臣。1998年から2004年まで文化芸術大臣。2010年フランスの芸術文化勲章(コマンドール)を受賞。

#### 

1957年名古屋大学大学院修了。名城大学助教授を経て1974年国立民族学博物館助教授。その後、同博物館教授・ 研究部長を経て1993年副館長、1996年同博物館名誉教授。1989年から総合研究大学院大学教授・比較文化学専攻長・ 文化科学研究科長を併任、1996年同学名誉教授、中部大学中部高等研究所副所長・教授。2011年から2013年3月まで、 アジア太平洋無形文化遺産研究センター (IRCI) 所長。2013年4月から国立文化財機構顧問。

#### **☆宮川 康秀** (佐陀神能保存会会長)

1950 年生まれ。島根県松江市鹿島町に在住。佐陀神能保存会会長、主に囃子方を受け持つ。加茂志神社他三社の宮 司を務める。

#### 佐陀神能

出演:島根県松江市 佐陀神能保存会



#### 演目:八重垣(やえがき)

古事記にある素盞鳴尊(すさのうのみこ と)の八岐大蛇(やまたのおろち)退治を題材 にした演目。

前段 素盞鳴尊に仕える臣下が登場し八 重垣の由来を物語り、御垣の前に毒酒を置 き、素盞鳴尊は御垣の横に身を隠す。

後段 毒酒を飲んだ大蛇は、素盞鳴尊に 退治される。このとき大蛇の尾先から天叢雲 剣(あめのむらくものけん)が出てくる。その 剣が、日本武命(やまとだけのみこと)によっ て東夷征伐に用いられ、草薙の剣(くさなぎ のつるぎ)として熱田神宮に納められたこと を物語る。

and the second second

#### 演目:アプサラ・メラの伝説

最初に登場するのは、世界を守るヴィ シュヌ神。あるときヴィシュヌ神は女神モヒ ニを呼び、魔物が神々から奪っていったア ムリタ(不老不死の霊薬)を取り戻すよう 命じた。

女神モヒニは魔物と対峙すると不思議 な力のある珠を空に投げあげる。珠はきら めきを放ち、魔物は目をやられてしまい、女 神は無事にアムリタを取り戻す。

乳海撹拌の際に湧き上がった泡から生 まれた天女アプサラたちと、最も美しいア プサラ・メラが登場する。メラはアプサラた ちを伴い、花の咲く庭園をゆったりと歩む。 そして、王国の平和を願い、善が悪に勝っ たことを祝福する。

### カンボジアの宮廷舞踊

出演:カンボジア王立舞踊団



Royal Ballet of Cambodia © Mr. Pin Lo

※乳海撹拌(にゅうかいかくはん):アムリタを作り出す際に、神々と魔物たちは力を合わせ山に蛇を巻きつけて海を かき回した。この場面は、アンコールワットの第一回廊の壁面の浮き彫りに見ることができる。